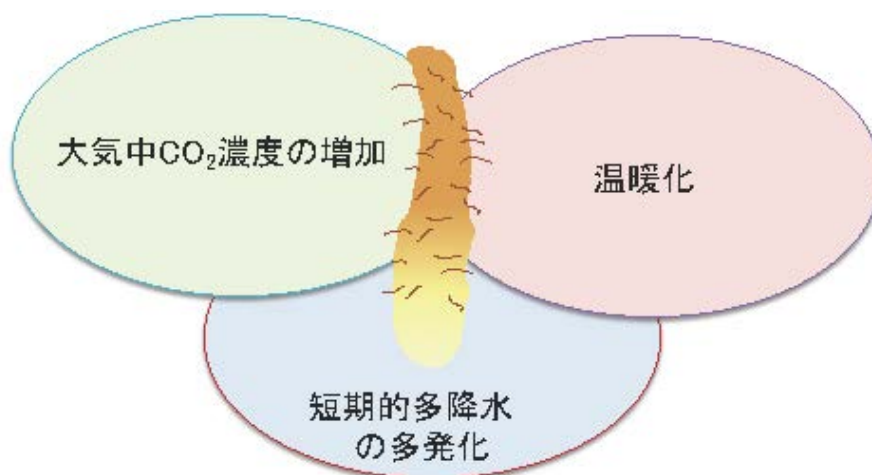


所属	農学生命科学部 国際園芸農学科	氏名	川崎 通夫
課題名	気象変動が青森県のイモ類作物に及ぼす影響に関する研究		

1. 概要

近年における地球温暖化や異常気象の多発化は、作物生産を行う上で大きな懸念や問題となっている。そのため作物の環境変動下における影響と障害発生のメカニズムを理解することは、持続可能な作物生産方法の開発や有効な作物品種の育成を検討する上で重要である。しかしながら、青森県の基幹作物であるナガイモや北東北におけるイモ類作物においては、地球温暖化やそれに関連する環境変動が与える影響に関する知見が限定的である。更には、環境変動が農作物へ与える影響は、地域特有の問題を引き起こす事例も多い。これらのことから本研究では、異なる気温条件下での大気中の高濃度のCO₂、および、短期的多降水がナガイモとその他のイモ類作物に及ぼす影響と障害の発生メカニズムを明らかにすることを目的として実験を行う。加えて、本研究から得られた知見をもとにして、青森県におけるナガイモを中心としたイモ類作物の持続可能な生産に向けた環境変動に対する適応策を提案することも目標としている。



青森県の基幹作物であるナガイモや北東北のイモ類は、異なる気温条件下での大気中の高濃度CO₂、および、短期的多降水によりどのような生理・生態・形態的影響を受け、どのようなメカニズムで成長変化や障害が引き起こされるのか？

↓
科学的実験に解明・実証

↓
機関間共同研究の推進、学術情報のパブリッシュと地域への還元

図 1

2. 画像の説明

図 1 本研究の概要